

# 定期作況報告

(第4号 平成19年8月20日現在)

北海道立上川農業試験場

## 1. 気象概況

7月下旬：最高気温は平年より0.6 高く、最低気温は平年より2.0 低かった。降水量は平年より43.8mm 少なく、平年対比39%であった。降水日数は平年より3日少なかった。日照時間は平年より20.2時間多く、平年対比140%であった。夏日(最高気温25 以上)は延べ9日で、そのうち真夏日(最高気温30 以上)は2日であった。

8月上旬：最高気温は平年より0.2 低く、最低気温は平年より0.9 高かった。降水量は平年より20.7mm 多く、平年対比141%であった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より29.4時間少なく、平年対比35%であった。夏日は延べ8日で、真夏日は無かった。

8月中旬：最高気温は平年より2.2 高く、最低気温も平年より1.5 高かった。降水量は平年より25.8mm 少なく、平年対比34%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より3.9時間少なく、平年対比92%であった。夏日は延べ7日で、そのうち真夏日は4日であった。

7月下旬から8月上旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温( )	27.5	26.9	0.6	26.6	26.8	0.2	28.0	25.8	2.2	27.4	26.5	0.9
最低気温( )	14.9	16.9	2.0	18.8	17.9	0.9	17.7	16.2	1.5	17.1	17.0	0.1
平均気温( )	20.5	21.5	1.0	22.3	22.0	0.3	22.6	20.5	2.1	21.8	21.3	0.5
降水量(mm)	27.5	71.3	43.8	71.0	50.3	20.7	13.5	39.3	25.8	112.0	160.9	48.9
降水日数(日)	2	5	3	6	4	2	2	3	1	10	12	2
日照時間(h)	70.4	50.2	20.2	15.9	45.3	29.4	47.3	51.2	3.9	133.6	146.7	13.1

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 平年並

事 由：出穂期は各品種・苗ともほぼ平年並であった。穂揃い日数は「ほしのゆめ」が平年並、「きらら397」は平年より1日長かった。最終止葉葉数は成苗「きらら397」が平年並、中苗の2品種は平年より0.3枚少なかった。

稈長は60cm前後で平年に比べやや短かった。穂長は17cm程度で「きらら397」が平年並、「ほしのゆめ」は平年に比べ1cmほど長かった。m<sup>2</sup>当たり穂数は平年より100本以上多く、平年の113～124%であった。

したがって、m<sup>2</sup>当たり穂数が多いため、総粒数も平年より多くなることが考えられる。一方、冷害危険期に低温に遭遇しており、稔実歩合が平年よりやや低下し、その結果m<sup>2</sup>当たり稔実粒数は平年並となることが予想される。

以上より、目下の作況は「平年並」である。

表2 生育期節

品 種 苗	出穂期(月・日)			穂揃い日数(日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397 中苗	7.27	7.27	0	6	5	1
ほしのゆめ 中苗	7.26	7.27	1	6	6	0
きらら397 成苗	7.24	7.25	1	7	6	1

注1) 平年値は平成12～18年7カ年のうち平成13年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて「早」(出穂期)あるいは「短」(穂揃い日数)を示す。

表3 8月20日現在の本田生育

品 種 苗	最終止葉葉数(枚)		
	本年	平年	比較
きらら397 中苗	11.0	11.3	0.3
ほしのゆめ 中苗	10.0	10.3	0.3
きらら397 成苗	11.2	11.2	0.0

品 種 苗	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)
きらら397 中苗	59.3	64.4	5.1	16.8	16.6	0.2	850	687	163	124
ほしのゆめ 中苗	61.6	69.2	7.6	17.0	15.9	1.1	841	741	100	113
きらら397 成苗	59.9	64.2	4.3	17.0	16.8	0.2	838	698	140	120

注1) 平年値は平成12～18年7カ年のうち平成13年(最豊年)、平成15年(最凶年)を除

いた5カ年の平均を用いた。  
 2) 印は平年に比べて「減」を示す。

2) 秋まき小麦： 良

事 由：成熟期は、平年より2日早かった。総重は平年をやや上回り、穂数が平年よりやや少なかったが千粒重が平年より重く、子実重は平年比114%と多収となった。リットル重も平年よりやや重かった。

したがって、目下の作況は良である。

表4 秋まき小麦の収量

品 種 名	成熟期(月日)			リットル重 (g)			千粒重(g)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホクシン	7.16	7.18	2	794	781	13	39.7	36.7	3.0	622	656	34

品 種 名	総 重 (kg/10a)			子 実 重 (kg/10a)			子実重平年比 (%)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
ホクシン	1531	1484	47	703	614	89	114	100	14

注1) 平年値は、前7か年中、平成13年、14年(収穫年度)を除く5か年の平均値

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

3)大豆 : やや不良

事由:7月下旬までの寡雨の影響で、主茎長、主茎節数は平年をやや下回っているが、分枝数は平年並みかやや多い。着莢数は、開花期前後の低温およびその後の干ばつにより、平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表5 8月20日の大豆の生育

品種名	主茎長 (cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
トヨムスメ	50.5	61.8	11.3	9.4	10.2	0.8	8.6	7.6	1.0
トヨコマチ	55.8	63.5	7.7	10.4	10.9	0.5	7.5	7.3	0.2
ユキホマレ	57.3	62.4	5.1	10.2	10.8	0.6	6.8	6.4	0.4

品種名	着莢数(個株)		
	本年	平年	比較
トヨムスメ	74	84	10
トヨコマチ	65	81	16
ユキホマレ	79	88	9

注1) 平年値は前7か年中、平成14年、17年を除く5か年の平均値。ただし、「ユキホマレ」については平成13年から17年の5か年の平均値で、参考値である。

2) は平年より減を示す。

4) 小豆 : 不良

事由：開花期は平年より3～4日早かった。7月下旬～8月上旬にかけて降雨があり、干ばつ状態は解消されたが、生育の回復は緩慢であり、早生の「サホロショウズ」では前節からの本葉数の増加は僅少であり、主茎長も平年より約40cm短い。中生の「エリモショウズ」は「サホロショウズ」と比べると生育が進み、前節より本葉数が3.6枚増加したが平年よりやや少なく、主茎長は平年より約20cm短い。分枝数は両品種ともに平年より少ない。また、予備的に「エリモショウズ」の莢数を調査した結果、平年の成熟期における莢数より少ない。

したがって、目下の作況は不良である。

表6 8月20日の小豆の生育

品 種 名	開花期(月日)		
	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	7.16	7.19	3
エリモショウズ	7.18	7.22	4

品 種 名	主 茎 長 (cm)			本 葉 数 (枚)			分 枝 数 本/株)		
	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
サホロショウズ	27.0	66.8	39.8	8.1	11.7	3.6	4.2	6.0	1.8
エリモショウズ	41.2	63.8	22.6	11.8	12.4	0.6	4.3	5.9	1.6

注1) 平年値は、前8か年中、平成15年(最豊)、平成16年(最凶)及び平成12年(茎疫病発生)を除いた5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

5) ばれいしょ : 不良

事由： 8月上中旬は高温に経過したため生育は進み、全ての個体が倒伏し、一部は黄変している。株当たり上いも数は平年より少なく、一方、8月上旬の十分な降雨により塊茎の肥大が進んだため、上いも平均一個重は平年より30%以上重い。10a当たり上いも収量は平年より少なく、でんぷん価は平年よりやや高い。

したがって、目下の作況は不良である。

表7 8月20日のばれいしょの生育

品種名	茎長(cm)		
	本年	平年	比較
男爵いも	49.3	49.0	0.3

品種名	上いも数(個/株)			上いも平均一個重(g)			上いも収量(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵いも	7.8	12.1	4.3	133	97	36	4598	5047	449

品種名	でんぷん価(%)		
	本年	平年	比較
男爵いも	14.4	13.9	0.5

注1) 平年値は、前7か年中、平成14年、16年を除く5か年の平均値。

2) 茎長の平年値は、平成6～9、11、16～18年の8か年の平均値であり、参考値である。

3) は平年より減を示す。